

清水の

## 豪援隊かわら版



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント  
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

## 〈今月の告知〉

## 1. 第一回「歴史を語る会」

不定期開催の歴史を語る会の最初の集まりです。今回のお題は「幕末」です。幕末に関して熱く語り合いたい方はこちらまでご連絡ください。

## 2. 第一回「なぞかけ同好会」

皆様、こんにちは、しずっちです。ボケ防止にも言われ、脳の活性化にも役立つといわれているなぞかけ。皆様からの秀逸な作品を募集いたします。今月の御題は、「WBC」。残念ながら準決勝で敗れてしまった日本ですが、WBCの御題で皆様からのなぞかけをお待ちしております。秀逸な作品の投稿者には豪華(?)景品進呈差し上げます。

## 〈今月の新着情報 その1〉

## サブクラス457ビザ

2月23日にオーストラリア移民局大臣がサブクラス457ビザの変更に関する発表を行いました。今回の変更の狙いとしては、サブクラス457ビザ(通称ビジネスビザ)が正当な理由で申請されていることを、今までより厳密に確認することを狙いとしています。多くの変更は今年7月1日から導入するとされています。

大臣からの発表内容として重要な項目のいくつかは下記項目となります。

- ・「真面目な申請」という項目を審査条項に加える。これにより、申請自体が真面目に海外労働者が必要なビザ申請であるのか、それとも単なるビザ取り手段であるかの判断がされる。
- ・一定条件免除の高給金額を18万ドルから25万ドルへ引き上げ。
- ・英語能力免除職種の変更。92000ドルの給料を得る職種以外は英語能力の証明を必要とする。
- ・労働条件監視の強化
- ・労働契約下、事前の取り決め以外の人材派遣業的なビザ労働者の雇用の禁止。
- ・Labour Market Testing(労働市場テスト)は導入しない。

7月1日から、ビジネスビザ取得条件が厳しくなることが見込まれます。現段階では移民局からの発表内容に応じて、対応をしていくことが必要となりますが、6月30日までに申請をご検討の方は早急に専門家、または弊社にお尋ねください。

## 〈今月の新着情報 その2〉

## 観光、医療ビザの変更

ビザシステムの簡素化を図ろうとしているオーストラリア政府が、3月12日に今月23日からの医療治療目的渡航ビザを含む、各種下記観光ビザの申請は3月22日で廃止し、23日以降はまた新たなビザクラスとして導入するということを発表しました。

これにより、以下のビザは今月23日以降申請不可となります。

- Tourist visa (subclass 676)
- Sponsored family visitor visa (subclass 679)
- Business (short Stay) visa (Subclass 456)
- Sponsored business visitor (short stay) visa (subclass 459)
- Medical Treatment (short stay) visa (subclass 675)
- Medical Treatment (long stay) visa (subclass 685)
- Electronic Travel Authority (visitor) (subclass 976)
- Electronic Travel Authority (business - short validity) (subclass 977)
- Electronic Travel Authority (business - long validity) (subclass 956).

今月23日以降は以下の新たなビザクラスが導入されます。

- Temporary work (short stay activity) visa (subclass 400)
- Visitor visa (subclass 600)
- Electronic Travel Authority (subclass 601)
- Medical Treatment visa (subclass 602)
- eVisitor (subclass 651)

今後の渡航につき、どのビザの申請をするか心配な方は弊社までご連絡ください。

## <今月の視点 その1>

### 1. 揺れるギラード政権

ギラード首相に対する不満が労働党内外にくすぶっている現在、いくつかの火種がいつ爆発するかと思いましたが、今月21日について起こりました。

労働党内の不和を一触するため、ギラード首相が労働党総裁を決める党内議決を執り行いました。結果は、ギラード首相の不戦勝。対抗馬として、再再度立ち上がると思われたラッド前首相が立候補せず、ギラード首相は戦わずしての勝利となりました。この件、労働党内外にはギラード首相の不安定なリーダーシップをアピールするとともに、9月に選挙を控えて、一枚岩で選挙戦を迎えられそうにない労働党の内情を暴露することとなりました。これで一件落着となるのか、それともまた近い将来次の火種が爆発するのか、ギラード首相にとっては何も得ることのない党内議決となりました。この状態でギラード首相が選挙戦を戦うだけの強いリーダーシップを国民にアピールできるのか、どうか。

その反面、こうした労働党のごたごたに今一つけこめずにいる自由・国民党。まだまだ先の話と思っていた総選挙も半年後となりました。ますます目が離せないオーストラリアの政局です。

## <今月の視点 その2>

### タクシーにて

最近のオーストラリアのタクシーでは、いわゆる白人の運転手が少なくなりました。その代わり、こちらで勉強をしているインド人やヨーロッパの学生がタクシーをバイトで運転していることが多い状況です。先日も、乗り合わせたタクシーの運転手もインドからの苦学生。オーストラリアの現在の物価の高さには、大変だと言っておりました。豪ドル高もますます拍車がかかっている昨今、留学生(そしてその親御さん)達は、ますます苦労しているようです。そんな中、よく考えたら日本人のタクシーの運転手には出会ったことがない。やはり、英語能力がなければ実際にできない仕事です。インド人のほとんどは、英語ができる人が多く、そしてIT技術者の能力の高さには定評があります。やはり、これから世界を席卷するのはインドでしょうかね。

## <今月の名言>

前向きにもがき苦しむ経験は、すぐに結果に結びつかなくても、必ず自分の生きる力になっていく。

落合博満(元プロ野球監督)

## <今月の視点 その3>

### オーストラリアらしさ

オーストラリアから連想するものは、何ですか？オペラハウス、コアラ、ミートパイ、オーストラリア訛りの英語など。いろいろと挙げたらきりがありませんが、当方の連想するものとして「真っ青な空」がありました。ところが、ここ数ヶ月はそのオーストラリアらしい「青空」に、なかなかお目にかかれません。これも温暖化の影響なのでしょう。子供たちも外で走り回ることができず、ストレスがたまるようです。学校の先生たちも、そうした子供たちの面倒を見るのが大変だという話を聞きました。と、これを書いている今も筆者の後ろで外を走り回れない子供たちが騒いでいます。

## <今月の偉人伝 -ガッツ石松>

- あるインタビューにて、  
「私はボクシングで人生が380度変わりました」
- クイズ番組にて、  
司会者「太陽はどこから昇るでしょうか？」  
ガッツ「太陽が昇るのは右からだろ」
- クイズ番組にて、  
司会者「世界の三大珍味です。トリフ、フォアグラ、もうひとつは？」  
ガッツ「サキイカ！」  
司会者「残念ですが違います」  
ガッツ「あっ、思い出した…キャタピラ！」
- クイズ番組にて、  
司会者「ガッツさんナゾナゾ問題ですよ。  
よく考えて下さいね。  
5+9+3は(ごくろうさん)。それでは、1+9+3は？」  
ガッツ「ええ…ええ…わかった！12！」  
司会者「残念！答えは(一休さん)でした」  
ガッツ「あっ！そうだった…ナゾナゾだったんだよな。  
オレ、マトモに計算しちゃったよ」
- 時代劇の撮影を終えたガッツさん、ちょんまげのカツラを脱ぎながら一言。  
「こんなに暑いものを毎日かぶって、昔の人は大変だったんだね」
- 同窓会に参加して、  
ガッツ「お～、老けたな～！いつになったんだ？」
- 土木作業員のことを土曜日と木曜日しか働かない人だと思っている。
- パスポートの申請で性別(SEX)の欄に週一と書いた。



このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！

ALC ビザコンサルタント

QLD州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227  
シドニー事務所 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

E mail : [info@alcvisa.com](mailto:info@alcvisa.com) Website : [www.alcvisa.com](http://www.alcvisa.com)

東京事務所 (担当: 生田・松本)

〒170-0013  
東京都豊島区東池袋  
4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003

Fax: +81-3-3985-6009